



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ソロモン諸島

— 2016年度 地域巡回機能回復等支援事業—
(終了時評価—2017年4月)

事業概要

国名	ソロモン諸島
プロジェクト名	2016年度 FDAPIN VIプロジェクト
実施期間	2016年7月11日（覚書署名）～2017年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁： 漁業海洋資源省 実施機関： 漁業海洋資源省

プロジェクト実施の経緯と背景

ソロモン諸島（以下「ソロモン」という。）政府漁業海洋資源省は、「2014-2018年実施計画書」において、最優先事項として市場や輸送手段及び施設等の改善を通じた地域漁業への支援を述べている。

上記計画の下、漁業海洋資源省は、各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は、故障や老朽化或いは運営管理の不備により本来の機能を発揮することが出来ず、漁業振興計画の推進に大きな支障をきたしている。

このような状況の下、漁業海洋資源省は、自国の漁業振興計画を推進するため、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し水産関連施設等の修理・修復及び技術移転並びに漁業センターの運営管理に関する指導・助言についての要請を行った。



財団はこの要請に応え、ソロモン政府漁業海洋資源省の漁業振興計画を支援するため、本事業の実施を決定した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	ソロモンにおいて漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	セゲ及びヤンディーナ地域における水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上
成 果	<p>1. セゲ漁業センター製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。</p> <p>2. ヤンディーナ漁業センター製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。</p>
活 動	<p>1. セゲ漁業センター 発電機、製氷機及びその他の部品を交換することにより製氷施設を修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行う。</p> <p>2. ヤンディーナ漁業センター 発電機、製氷機及びその他の部品を交換することにより製氷施設を修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行う。</p>
投 入	<p>財団側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家： <ul style="list-style-type: none"> 〔巡回指導〕 チームリーダー 1名 冷凍機器技術者 1名 計画：2017年2月下旬～3月中旬（25日） 実績：2017年2月16日～3月4日（17日） 延日数 計画：50人・日 実績：34人・日（計画対比：68%） ・ 事業費： 予算額 17,160千円 実績額 16,181千円（予算対比：94%） ・ 主な資機材： <ul style="list-style-type: none"> ◦ セゲ漁業センター： <ul style="list-style-type: none"> 製氷機、発電機各1台、関連資機材一式 ◦ ヤンディーナ漁業センター： <ul style="list-style-type: none"> 製氷機、発電機各1台、関連資機材一式 <p>相手国側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カウンターパート：

	<p>(1)セゲ漁業センター製氷施設の修理・修復及び技術指導 Principal Fisheries Officer 1名 Manager for Seghe Fisheries Centre (Operator) 1名 (2017年2月28日～2017年3月2日)</p> <p>(2)ヤンディーナ漁業センター製氷施設の修理・修復及び技術指導 Principal Fisheries Officer 1名 Principal Fisheries Officer 1名 Provincial Fisheries Officer (Operator) 1名 (2017年2月21日～2017年2月24日)</p> <p>・プロジェクト関連予算・土地、施設等： 漁業海洋資源省事務室、電気・水道の無償使用、船外機付きボートの提供等</p>
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

プロジェクトは、ソロモン政府の「2014-2018年実施計画書」等に基づく漁業振興策に合致しており、妥当と認められる。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

ソロモン政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転を要請されており、事前調査においてセゲ漁業センター製氷施設及びヤンディーナ漁業センター製氷施設の修理・修復及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

冷凍・冷蔵機器類の冷媒及び機械の廃棄部品類などを取り扱う時には、周囲の環境を汚染しないよう配慮して行った。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図るものであり、その結果、間接的に曳き縄、手釣り漁業を行う現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定される。しかし、零細漁業であり漁獲圧力は限定的と考えられ、水産資源への負荷を大きくするものではない。

5. その他(プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等)

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

事業費は予算額内に収まり、実施期間は計画より短期間となったことから効率性は高い。
(予算及び実施期間計画対比：事業費 68%、実施期間 94%)

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を發揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を發揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、巡回指導及び漁業普及とともに、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標： セゲ及びヤンディーナ地域における水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) セゲ漁業センター製氷施設の修理・修復及び技術指導

セゲ漁業センター製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術向上

施設の修理・修復を行い、漁業海洋資源省のカウンターパート及び製氷機オペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。



【セゲ漁業センター：発電機の電圧、ヘルツの調整の指導】

(2) ヤンディーナ漁業センター製氷施設の修理・修復及び技術指導

ヤンディーナ漁業センター製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術向上。

施設の修理・修復を行い、漁業海洋資源省のカウンターパート及び製氷機オペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設の修理・修復に関する漁業海洋資源省のカウンターパート及び製氷機のオペレーターの技術が向上したことから、上位目標である漁業の生産性が向上し、小規模漁業の発展に一定の効果が見込まれる。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設が稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、漁獲物の鮮度が保たれ魚価が上がり、漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果が見込まれる。

また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果が見込まれる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトやプロジェクトの計画当初予

見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは漁業海洋資源省の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。



【ヤンディーナ漁業センター：

カウンターパートからオペレーターへの発電機始動前点検方法の指導】

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、施設の機械に異常が発生した際には、漁業海洋資源省のメカニックが州政府の予算で修理のために現地に出張するシステムがある。

従って本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。



【セゲ漁業センター：センターマネージャーと供与する工具と備品の確認】

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上